

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)11月5日

所 属 名:東近江農産普及課

番 号:D25020

発 信 者 名:藤原、人見

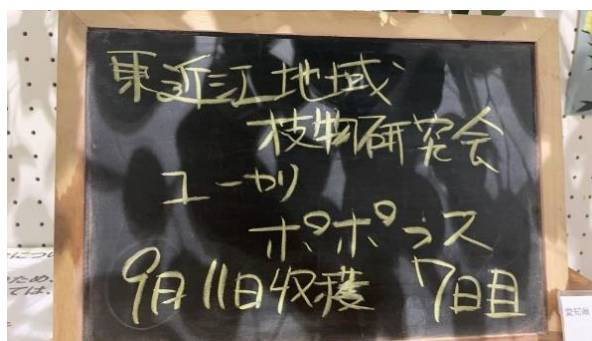
京都花市場にて東近江地域産枝物が展示されました！

9月12日から9月19日にかけて、東近江地域枝物研究会の活動を市場関係者や実需者に幅広く周知することを目的に、京都花市場(京都生花株式会社)にて、東近江地域のユーカリが展示されました。生産者自らが実需の動向を把握し、東近江地域ならではの強みを生かした枝物を出荷できるよう、東近江地域枝物研究会の支援を行っています。

東近江地域では、令和2年度から水田を活用したユーカリをはじめとした花木栽培を推進し、現在約50名が栽培しています。令和6年度には広域組織である東近江地域枝物研究会が発足しました。

高温期(5～9月)のユーカリは、鮮度保持が難しく品質の劣化が著しいため、出荷に向かないとされています。一方、ユーカリの主な用途の1つであるブライダル需要は、高温期にも一定見られます。普及活動では、メーカーや市場の協力のもと、需要に対応した出荷技術の確立に取り組み、コールドチェーンの実践と鮮度保持剤の使用により、市場担当者から高い評価を得られる品質を確保することができました。

今後は、この結果を研修会で発表し、高温期出荷モデルの波及に努めるとともに、東近江地域としてのブランドが向上し、価格に転嫁されるよう支援していきます。



展示の様子